

命の大切さ生徒に語る

甲府池田小事件の被害者遺族

犯罪や交通事故の被害者

いた。

授業では、2001年

の遺族から体験を聞き、命

6月に起きた大阪教育大

の尊さを考えてもらおう

付属池田小児童殺傷事件

と、県警と公益社団法人被

害者支援センターやまな

し」は4日、山梨英和中学

さん（当時7歳）を亡く

校（甲府市愛宕町）で、「命

した本郷由美子さん（51）

の大切さを学ぶ授業」を開

が、「いのちの重さ・生き

るとはくむすめが教えてくれたこと」と題して講



「たくさんの命がつかなくて今の皆さんいます」と命の尊さを訴える本郷さん

演じた。

優希さんを失った直後、本郷さんは視界が灰色に見えたり、音がこもって聞こえたりする症状にさいなまれ、「消えてなくなりたいと思った」と生きる気力をなくすほどの絶望を振り返った。

ただ、事件の数週間後、教室で襲われた優希さんの血痕が廊下まで点々と続いていくことを知ったことで再び歩き始める力を取り戻したという。「長女が一生懸命生きようとしていたように感じ取れ、自分のできることをやろうと前向きになれた」と語った。

聴講した3年の福田涼奈さん（15）は、「生きているのが当たり前と思っている自分に気づいた。命の重みをかみ締めながら、一生懸命生きていきたい」と話していた。